

五日市中央学区防犯協力会（広島市佐伯区）

1 功績の概要

平成 13 年、県内の刑法犯認知件数が戦後最多となり、窃盗や器物損壊事件が多発したことから、現会長を中心に「自分たちの街まちは自分たちで守ろう」を合い言葉に設立。

設立以降、ほぼ毎日、登校時間帯における立哨、見守り活動を実施するとともに、月3回、夜間帯における徒歩パトロールを実施、他団体との積極的な情報発信や合同パトロールを実施するとともに、学校、教育委員会、行政と連携し、定期的に通学路の合同点検を実施。

また、特殊詐欺の被害防止に係る防犯講習会を開催した際は、県警防犯アプリの活用促進に係る広報啓発を行う活動を展開するとともに、平成 13 年から防犯川柳コンクールを主催し、全国の幅広い世代から多数の応募が寄せられるなど、大きな広報効果をあげている。

同団体は、町内会を基盤として発足した防犯団体で、子供の見守りや防犯パトロールのみならず、地域住民の自主防犯意識の高揚を図る活動に長年に亘って取り組んでおり、地域住民の同士のつながりや安心感の醸成に大きく寄与し、その貢献は計り知れない。

令和4年 10月 12日 安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰 受賞

2 活動状況



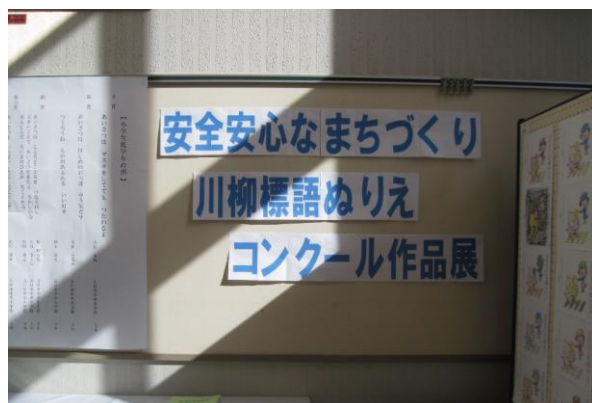
【登校時間帯の見守り活動】



【夜間帯の徒歩パトロール】



【防犯講習会】



【防犯川柳コンクール】